

# 南砺市福野東部公民館

## ◆事業の目的

子供たちが、地域において色々計画された事業に参加し、地域の方々や家族のみなさんの「愛」と「絆」を実感します。又、子供たちが自分たちの出来ることで、地域の行事に直接参加する機会を設け、地域の一員としての自覚と喜びを養います。そして、地域の主要産業である農業の体験の中から、育てることの喜びや収穫までの仕事の大変さを理解し、感謝の心を養うと共に、溢れる自然の中で営まれる命の大切さや自然の恵み、自然の不思議を体験を通じて理解し、心豊かでやさしい人づくりを目指します。

## ◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
5月6日(日)	鳥の巣箱作りと自然観察	南砺市植物園と安居山	35名
5月21日(月)	野菜作りを体験しよう①	福野東部苗島地区	31名
8月4日(土)	田楽行燈づくり	福野東部・北部公民館	95名
8月25日(土)	スキヤキパレード参加	福野地域内	103名
10月6日(土)	野菜作りを体験しよう②	福野東部苗島地区	115名
12月2日(日)	みんなで収穫を祝おう	福野東部公民館	95名
12月2日(日)	東部地区はどんどころ?	福野東部公民館	41名

## ◆事業の様子

### ☆ 鳥の巣箱作りと自然観察

南砺市植物園前の広場でみんなで巣箱を作った。6枚の板を組み合わせてトンカチで釘を打ち付けた。日頃トンカチなど持つことのない子供たちには少し難しい作業でしたが、指導者や保護者の方々のアドバイスで素敵な巣箱が出来上がった。近くの安居山に向かい、朝からの雨で巣箱の取付はできなかったが、自然を満喫した。

### ☆ 田楽行燈づくりとスキヤキパレード参加

地域に伝わる田楽行燈づくりを子供たちに継承すると同時に、作った行燈を敬老会・文化祭・福野で行われる国際的イベントであるスキヤキミーツザワールド等地域の行事に利用し参加の機会を図った。みんなで作った田楽行燈を持って参加することで地域の一員としての参画意識を持たせることができた。

### ☆ 野菜作りを体験しよう①・②(さつまいも苗の植え付けと収穫)

館長や農協指導員の方の説明を聞き、収穫を楽しみに350本の苗を植えた。秋には近くのひまわり保育園の園児も招待し、育てたさつまいもを友達・両親や地域の方々と共に掘り、収穫の喜びを体験した。収穫したさつまいもを保育園に持ち帰り焼いも会も開催した。

### ☆ みんなで収穫を祝おう(もちつきとしめ縄づくり)

地区で生産されたもち米で、自治振興会、婦人会、食改など地域の沢山の方々ともちつきをし、皆でいただき、収穫を祝った。

## ◆事業の成果と課題

地域の方々や保護者の方々と共に色々な体験を通じて沢山の思い出や絆づくりができた。こうした行事に多くの子供たちの参加を期待するあまり、すべてお膳立てし迎えていたが、共に計画し、準備段取りする中で子供たちが考え・学び・教え・育てることができるように行事を計画していきたい。



立派な巣箱が出来ました



田楽行燈色付け難しいね



大きなさつまいもが掘れたよ



おもちに黄な粉つけました